

参加者は被災地の子どもたちの「笑顔の傘」をさし、復興への願いを表した



西日本新聞

発行所

西日本新聞社

福岡市中央区天神1丁目
4番1号(〒810-8721)

©西日本新聞社2012年

3月5日
(月曜日)

「笑顔の傘」咲いた

被災地の復興願い 天神歩く

東日本大震災からもうすぐ1年。雨がちらつく福岡市・天神で4日、被災地の子どもたちの「笑顔の傘」を開くイベントがあった。福岡から復興を願う気持ちを届けよう

と、天神の商業施設・イムズとNPO法人メリープロジェクト(東京)が企画した。笑顔の写真は、同NPO法人代表でグラフィックデザイナーの水谷孝次

さんが被災地で1年かけて撮影。イベントの趣旨に賛同した大学生ら約60人が傘をさして、西鉄福岡天神駅一帯をゆっくりと歩いた。出発点のイムズに戻る

と、買い物客によく見えるように、全員で並んで傘を開いた。水谷さんは「飛び入りの協力者が多く、福岡の人々の復興への強い気持ちを感じた」と話していた。